

JHL NEWS

No.3

2011年11月7日

●発行●
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

北國、オムロンが開幕3連勝！

～第36回日本ハンドボールリーグ・第2週～

第36回日本ハンドボールリーグ第2週は11月3、5日に石川などで女子6試合が行われ、北國銀行とオムロンが開幕3連勝をマークした一方、前回2位のソニーセミコンダクタは3連敗と大きく出遅れた。

今週の注目は前回の上位チームが直接対決した北國-ソニー、広島メイプルレッズ-オムロン、広島-ソニーの3試合。

まず3日、ソニーをホーム石川で迎えた北國は、新加入の石野をスタートから起用。スケールアップした攻撃陣がポジションをまぐるしく変えながらゴールを狙い、上町、石野のミドルやカットインで得点を重ねた。守っても横嶋が効果的にソニーの攻撃を分断し、速攻を交えながら3度の3連取などで前半を6点リードで終了。後半に入っても北國のディフェンスと脚が冴え渡り、高い位置でのアタックで早目にソニーの攻撃の芽をつぶし、得意の速攻をくり出して得点を量産。北國は終盤に投入した八十島ら若手も次々とゴールを決め、大量11点差をつけて快勝した。ソニーは地元出身の山野がロングシュートや7mスローなどで奮戦したが、勝機を見出すまでに至らなかった。なお、この試合で北國・上町が7mスロー通算200得点を達成した。

同日広島での広島-オムロン戦は意外な大差がついた。立ち上がりオムロンはGK藤間が堅実なキーピングで広島の単調なシュートを立て続けに阻み、攻めでは高田らの活躍で前半12分7-1と好ダッシュ。ここでタイムアウトを要求した広島はGK堂面が好セーブを連発、攻撃も2連取と勢いを取り戻したかに見えたが、スピーディなパス回しからチャンスをつくり出すオムロンの前に苦戦が続いた。オムロンはディフェンスでも高さを十分に生かして広島の攻撃をシャットアウト、16-6の大差で折り返した後半もいきなりの3連取で波に乗った。広島も速攻、ポスト攻撃を中心に必死の反撃を試みたが、オムロンに傾いた流れを食い止めることができず、攻守で広島を圧倒したオムロンが32-19で大勝した。

5日広島での広島-ソニー戦は、ソニーが錦織、山野の連打で好スタートを切ったのに対し、広島も新城、植垣、高山、早川と立て続けに得点を重ねて一気に逆転、その後も速攻、7mスローなどで加点した。しかし、15分過ぎからは広島にシュートミスが目立ち、田中らで反撃したソニーが13-13の同点に追いつき前半を終えた。後半に入り、互いにオーバーステップ、パスミス、チャージングなどでチャンスをつぶしてなかなかリズムに乗りきれず、一進一退の攻防が続いた。そんな中、広島は20分過ぎの勝負所で植垣がスタンディングなどタイミングのいいシュートを重ねてペースをつかみ、28-24と接戦を制した。



3連勝を飾った④北國・小野澤⑤オムロン・高田

第3週の日程

11月12日(土)	千葉	市川市塩浜市民体育館(東京外口東西線南行徳駅京成バス終点から徒歩1分)	13:00～	(男)	大崎電気×トヨタ車体
		中村スポーツセンター(地下鉄東山線中村日赤駅徒歩5分)	13:00～	(女)	H C 名古屋×広島メイプルレッズ
	愛知	三好公園総合体育館アリーナ(名鉄豊田線赤池駅バス20分)	15:00～	(男)	湧永製薬×琉球コラソン
		稲沢市総合体育館(名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」下車徒歩8分)	13:00～	(女)	三重バイオレットアイリス×ソニーセミコンダクタ
11月13日(日)	千葉	市川市塩浜市民体育館(東京外口東西線南行徳駅京成バス終点から徒歩1分)	15:00～	(男)	大同特殊鋼×トヨタ紡織九州
		稲沢市総合体育館(名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」下車徒歩8分)	13:00～	(女)	オムロン×北國銀行
	愛知	市川市塩浜市民体育館(東京外口東西線南行徳駅京成バス終点から徒歩1分)	14:00～	(男)	豊田合成×北陸電力
		中村スポーツセンター(地下鉄東山線中村日赤駅徒歩5分)	11:00～	(女)	北國銀行×広島メイプルレッズ
		稲沢市総合体育館(名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」下車徒歩8分)	13:00～	(女)	H C 名古屋×ソニーセミコンダクタ
		稲沢市総合体育館(名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」下車徒歩8分)	15:00～	(男)	大同特殊鋼×湧永製薬
稲沢市総合体育館(名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」下車徒歩8分)	11:00～	(男)	トヨタ紡織九州×琉球コラソン		
稲沢市総合体育館(名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」下車徒歩8分)	13:00～	(女)	三重バイオレットアイリス×オムロン		
稲沢市総合体育館(名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」下車徒歩8分)	15:00～	(男)	豊田合成×トヨタ車体		



三重バイオレットアイリス・毛利

三重が名古屋を一蹴して初勝利

3日愛知でのHC名古屋-三重バイオレットアイリスは、前半10分過ぎからエース伊藤に当たりが出てきた三重がスパートをかけ、早船のロングを皮切りに7連続得点を重ねて23分14-5と抜け出した。名古屋も細田、横井らで応戦するものの15-8と三重リードで前半終了。後半も三重の優勢は変わらず、GK毛利の好セーブをからめて終始リードを保ち続け、今リーグ1勝目をあげた。

5日愛知での三重-北國銀行は、立ち上がり三重が漆畑の先制打や早船、伊藤のロングシュートで得点を重ねた。しかし、北國は八十島、鯨場らの4連続得点で逆転、その後も速い攻撃を仕掛けて18-12と6点リードで前半を折り返した。後半に入っても北國はGK田代を中心とした固いディフェンスで三重の攻撃を封じ込み、一気にリズムをつかんで試合の大勢を決めた。

続く名古屋-オムロンは、地力に勝るオムロンが勝連のサイドシュートで先制点を奪うと、石立を中心とした速いパス回しからのサイド、カットインなどで着実に加点、18-7と先行して前半を終えた。後半に入り名古屋も高橋玲の速攻などで反撃を試みるが、オムロンの要所で前に出る堅いディフェンスの前にシュートが決まらず、逆に速攻を次々と繰り出したオムロンが順当勝ちした。

第3週はロンドン・オリンピックアジア予選を終えた男子も開幕。男子8試合、女子6試合が行われ、男子では大崎電気-トヨタ車体、大同特殊鋼-トヨタ紡織九州、大同-湧永製菓、女子もオムロン-北國銀行など好カードが組まれている。

<p>◆ 11月3日(木) 女子 石川・小松総合体育館</p> <p>北國銀行 34 (18-12) 23 2勝0分0敗</p> <p>ソニーセミ コンダクタ 0勝0分2敗</p> <p><1/3> K 寺田 中島 K <0/1> 0/0 若泉 山野 5/10 4/5 3/5 鯨場 山田菜 0/1 1/2 8/12 上町 高橋 3/3 2/6 樋口 田中 3/4 5/7 石野 山田梨 0/0 1/2 小野澤 工藤 0/0 5/6 横嶋 古川 0/0 1/2 後藤 川崎 0/0 0/0 翁長 黒木 2/7 <0/2> K 田代 飛田 K <1/1> 1/2 仲宗根 石井 0/1 1/2 野路 南 K 3/4 八十島 錦織 5/8 3/4 若松 張素姫 1/5 0/0 屋嘉</p>	<p>◆ 11月3日(木) 女子 愛知・ブラザー工業体育館</p> <p>三重バイオレットアイリス 26 (15-8) 17 1勝0分1敗</p> <p>HC名古屋 0勝0分2敗</p> <p>K 浅井 近藤 K <0/1> 2/4 横川 伊藤 0/1 0/2 石黒 佐藤 0/2 0/2 阿久田 高橋瑛 3/10 0/1 谷口 鈴木 0/2 2/4 石坂 細田 1/10 0/1 0/1 飯田 阪本 3/3 0/0 石川 高橋玲 6/7 <1/2> K 毛利 家城 K <0/1> 4/4 黒川 秋山 1/2 2/4 漆畑 横井 2/4 2/2 6/9 伊藤 井本 0/0 1/1 4/6 村尾 4/7 早船</p>	<p>◆ 11月3日(木) 女子 広島・東区スポーツセンター</p> <p>オムロン 32 (16-6) 19 2勝0分0敗</p> <p>広島メイプルレッズ 1勝0分1敗</p> <p><1/2> K 藤間 堂面 K <1/4> 1/1 澤田 土屋 0/0 4/7 高田 村山 2/3 0/0 卷 河田 0/0 2/2 1/4 稲葉 大前 1/2 1/2 4/6 藤井 植垣 1/8 0/1 4/6 石立 宋海林 4/12 1/1 0/2 吉野 菅野 0/4 0/0 久野 早川 1/4 4/4 永田 呉成玉 0/0 K 山中 五月女 0/0 2/2 勝連 安齋 0/0 2/2 前田 高山口 6/7 1/1 松本 田口 K 6/9 東濱 新城 3/5 0/0 金且妍</p>
<p>1/2 33/52 11(FPP)11 19/39 4/5 審判(大石・桜打) 観客 1285人</p>	<p>2/2 24/44 2(FPP)4 16/41 1/2 審判(河合・臼井) 観客 413人</p>	<p>3/4 29/44 5(FPP)6 18/45 1/2 審判(家永・福島) 観客 523人</p>
<p>◆ 11月5日(土) 女子 愛知・中村スポーツセンター</p> <p>北國銀行 38 (18-12) 18 3勝0分0敗</p> <p>三重バイオレットアイリス 1勝0分2敗</p> <p><1/2> K 寺田 浅井 K <0/2> 0/0 若泉 横川 2/3 6/7 鯨場 石黒 0/0 2/2 4/9 上町 阿久田 1/3 4/9 樋口 谷口 0/0 1/8 石野 石坂 1/5 0/1 小野澤 飯田 2/3 6/6 横嶋 石川 0/0 0/1 後藤 毛利 K <0/2> 2/2 2/4 翁長 黒川 2/3 K 田代 漆畑 1/1 2/8 仲宗根 伊藤 2/11 1/2 1/1 野路 村尾 0/2 3/7 八十島 早船 6/14 5/7 若松 0/0 屋嘉</p>	<p>◆ 11月5日(土) 女子 愛知・中村スポーツセンター</p> <p>オムロン 39 (18-7) 13 3勝0分0敗</p> <p>HC名古屋 0勝0分3敗</p> <p><0/1> K 藤間 近藤 K <0/1> 0/0 澤田 伊藤 0/2 6/8 高田 佐藤 1/2 0/0 卷 高橋瑛 2/13 1/1 稲葉 鈴木 0/3 3/3 3/6 藤井 細田 1/6 1/1 8/9 石立 阪本 4/4 3/6 吉野 高橋玲 3/4 0/0 久野 家城 K <0/2> 3/3 永田 秋山 0/1 K 山中 横井 1/5 5/9 勝連 井本 0/0 2/3 前田 0/0 松本 5/8 東濱 0/1 小</p>	<p>◆ 11月5日(土) 女子 広島・中区スポーツセンター</p> <p>広島メイプルレッズ 28 (13-13) 24 2勝0分1敗</p> <p>ソニーセミ コンダクタ 0勝0分3敗</p> <p><1/2> K 堂面 中島 K <1/4> 0/2 土屋 山野 8/16 1/2 0/0 村山 山田菜 0/0 0/0 河田 高橋 4/5 0/0 大前 田中 4/8 2/3 9/14 植垣 山田梨 0/0 0/0 宋海林 工藤 0/0 2/2 菅野 古川 0/0 3/3 早川 川崎 0/0 2/3 呉成玉 黒木 0/1 0/0 五月女 飛田 K 0/0 安齋 石井 0/0 6/7 高山口 南 K K 田口 錦織 3/4 1/1 3/6 新城 張素姫 4/7</p>
<p>4/4 34/68 1(FPP)12 17/45 1/2 審判(貝沼・須原) 観客 263人</p>	<p>3/3 36/54 2(FPP)6 12/40 1/1 審判(桶家・魚川) 観客 378人</p>	<p>3/4 25/37 4(FPP)9 23/41 1/2 審判(家永・福島) 観客 509人</p>

女子個人ランキング 第2週終了

得点王

1	上町 史織	(北國銀行)	22点	(3試合)
2	藤井 紫緒	(オムロン)	21点	(3試合)
2	山野由美子	(ソニーセミコンダクタ)	21点	(3試合)
4	石立真悠子	(オムロン)	18点	(3試合)
5	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	17点	(3試合)
6	高田 裕梨	(オムロン)	15点	(3試合)
6	樋口 真央	(北國銀行)	15点	(3試合)
6	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	15点	(3試合)
9	横嶋かおる	(北國銀行)	14点	(3試合)
9	高山 智恵	(メイプルレッズ)	14点	(3試合)
11	錦織 新	(ソニーセミコンダクタ)	13点	(3試合)
11	早船 愛子	(バイオレットアイリス)	13点	(3試合)
13	若松 里佳	(北國銀行)	12点	(3試合)
13	新城 明奈	(メイプルレッズ)	12点	(3試合)
13	東濱 裕子	(オムロン)	12点	(3試合)
13	張 素姫	(ソニーセミコンダクタ)	12点	(3試合)
フィールド得点				
1	石立真悠子	(オムロン)	18点	(3試合)
2	上町 史織	(北國銀行)	17点	(3試合)
3	山野由美子	(ソニーセミコンダクタ)	16点	(3試合)
4	高田 裕梨	(オムロン)	15点	(3試合)
5	横嶋かおる	(北國銀行)	14点	(3試合)
5	高山 智恵	(メイプルレッズ)	14点	(3試合)
5	樋口 真央	(北國銀行)	14点	(3試合)
5	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	14点	(3試合)
9	早船 愛子	(バイオレットアイリス)	13点	(3試合)
10	若松 里佳	(北國銀行)	12点	(3試合)
10	藤井 紫緒	(オムロン)	12点	(3試合)
10	東濱 裕子	(オムロン)	12点	(3試合)
10	張 素姫	(ソニーセミコンダクタ)	12点	(3試合)
14	錦織 新	(ソニーセミコンダクタ)	11点	(3試合)
14	八十島智美	(北國銀行)	11点	(3試合)
14	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	11点	(3試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	横嶋かおる	(北國銀行)	14点/16射	0.875
2	高山 智恵	(メイプルレッズ)	14点/17射	0.824
3	高田 裕梨	(オムロン)	15点/20射	0.750
4	石立真悠子	(オムロン)	18点/25射	0.720
5	若松 里佳	(北國銀行)	12点/18射	0.667
6	上町 史織	(北國銀行)	17点/26射	0.654
7	藤井 紫緒	(オムロン)	12点/19射	0.632
8	樋口 真央	(北國銀行)	14点/23射	0.609
9	張 素姫	(ソニーセミコンダクタ)	12点/24射	0.500
9	東濱 裕子	(オムロン)	12点/24射	0.500

7mスロー得点

1	藤井 紫緒	(オムロン)	9点	(3試合)
2	山野由美子	(ソニーセミコンダクタ)	5点	(3試合)
2	上町 史織	(北國銀行)	5点	(3試合)
4	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	4点	(3試合)
5	新城 明奈	(メイプルレッズ)	3点	(3試合)
5	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	3点	(3試合)
5	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	1点	(1試合)

7mスロー阻止率

(7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKを対象)

1	堂面 妙子	(メイプルレッズ)	5本/10射	0.500
2	寺田三友紀	(北國銀行)	2本/5射	0.400
3	藤間かおり	(オムロン)	2本/6射	0.333
3	飛田季実子	(ソニーセミコンダクタ)	1本/3射	0.333
5	浅井友可里	(バイオレットアイリス)	1本/5射	0.200
5	家城 千香	(HC名古屋)	1本/5射	0.200
5	毛利 久美	(バイオレットアイリス)	1本/5射	0.200

役員登録情報

〈大崎電気〉 副部長 根本 和郎 (登録抹消: 川端 晴幸)
 〈トヨタ車体〉 コーチ 坪根 敏宏
 ※ともに11月12日から出場可能

第3回チャレンジ・ディビジョン

第3回チャレンジ・ディビジョンは11月5日に第2節を迎え、兵庫県でBブロックの2試合が行われた結果、OSAKA SELECTIONとHondaが勝利を飾った。

このあと両ブロックの総当たりリーグを経て、来年1月の決勝トーナメント、順位決定戦に進んで行く。

11月5日・神戸国際大学体育館
 OSAKA SELECTION ¹⁶⁻¹⁵ HC・MKA 奈良
 (19-11) ²⁶ 奈良
 Honda ²⁰⁻¹⁶ 33 八光自動車
 (16-17)

Aブロック勝敗表

	大同	岐阜	阜	春日井	セントラル	TOYAMA	トヨタ	勝	分	敗	得失点差
① 大同大学	※				27○23		33○18	2	0	0	19
② HC岐阜		※				28○21	25○23	2	0	0	9
③ HC春日井				※	18○17	24○23		2	0	0	2
④ セントラル自動車	23●27			17●18	※			0	0	2	-5
⑤ TOYAMA選抜		21●28	23●24			※		0	0	2	-8
⑥ トヨタ自動車	18●33	23●25					※	0	0	2	-17

Bブロック勝敗表

	八光	OSAKA	Honda	奈良	岐阜	同朋	勝	分	敗	得失点差
① 八光自動車	※		33●37			34○13	1	0	1	17
② OSAKA SELECTION		※		35○26			1	0	0	9
③ Honda	37○33		※				1	0	0	4
④ HC・MKA奈良		26●35		※	27○17		1	0	1	1
⑤ 岐阜聖徳学園大学				17●27	※		0	0	1	-10
⑥ 同朋クラブ	13●34					※	0	0	1	-21

第36回日本ハンドボールリーグ成績表 第2週終了 11月5日

順位	男子	大崎電気	湧永製薬	大同特殊鋼	トヨタ紡織九州	トヨタ車体	琉球コラソン	豊田合成	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
	大崎電気									0	0	0	0	0	0	0	0
	湧永製薬									0	0	0	0	0	0	0	0
	大同特殊鋼									0	0	0	0	0	0	0	0
	トヨタ紡織九州									0	0	0	0	0	0	0	0
	トヨタ車体									0	0	0	0	0	0	0	0
	琉球コラソン									0	0	0	0	0	0	0	0
	豊田合成									0	0	0	0	0	0	0	0
	北陸電力									0	0	0	0	0	0	0	0

順位	女子	北国銀行	オムロン	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアイリス	ソニーセミコンダクタ	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北国銀行				38 ○ 18	34 ○ 23	39 ○ 14	3	3	0	0	6	111	55	56
2	オムロン			32 ○ 19		35 ○ 25	39 ○ 13	3	3	0	0	6	106	57	49
3	広島メイプルレッズ		19 ● 32		31 ○ 18	28 ○ 24		3	2	0	1	4	78	74	4
4	三重バイオレットアイリス	18 ● 38		18 ● 31			26 ○ 17	3	1	0	2	2	62	86	-24
5	ソニーセミコンダクタ	23 ● 34	25 ● 35	24 ● 28				3	0	0	3	0	72	97	-25
6	HC名古屋	14 ● 39	13 ● 39		17 ● 26			3	0	0	3	0	44	104	-60

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。